

【研究概要】

がん幹細胞の hippo シグナル制御による革新的難治性がん治療創薬
薬学研究科・長谷 拓明

本研究では、神経膠芽腫におけるがん幹細胞を標的とした治療薬開発を目指し、我々が独自に構築したスクリーニング系を用いて見出した化合物#433 の作用機序の解明を試みた。プロテオーム解析を経て、#433 がスフェロイド形成時特異的に抑制するタンパク質群を同定した。さらに、#433 と相互作用するタンパク質を Thermal Proteome Profiling により探索し、複数の候補タンパク質を取得した。今後、相互作用の詳細について解析を継続し、さらに xenograft モデルでの抗腫瘍効果と安全性を検討する予定である。